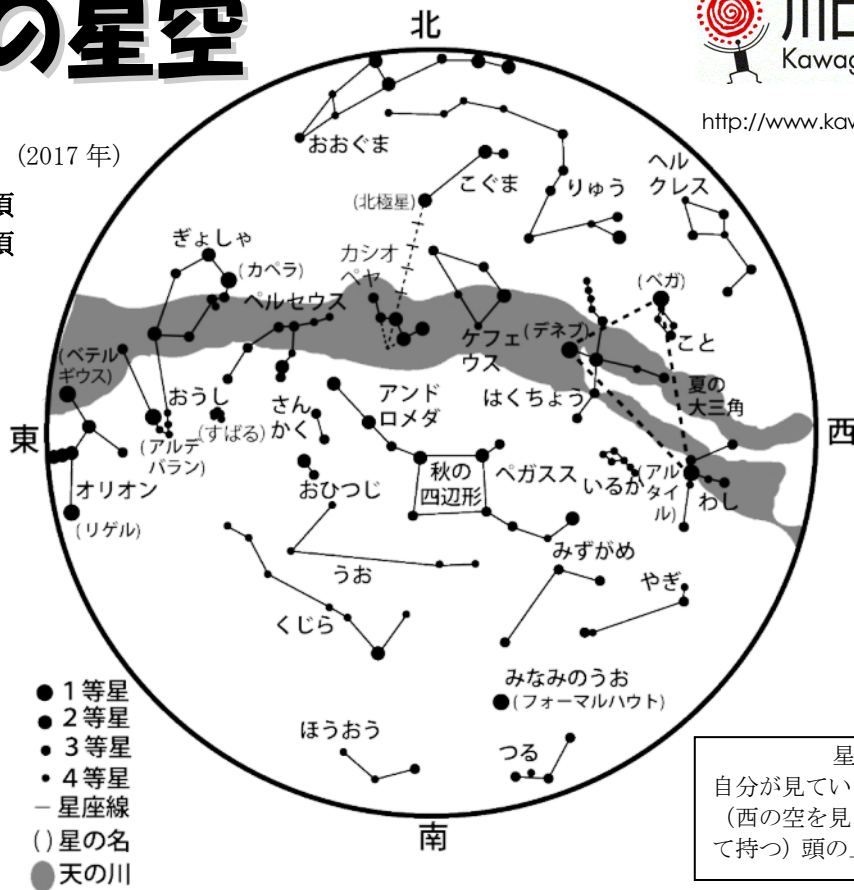


# 今月の星空

11月 (2017年)

上旬 21 時頃  
下旬 20 時頃



月 齢	○ 満月 4 日、● 下弦 11 日、● 新月 18 日、● 上弦 27 日
惑星情報	水星 夕方 南西 (てんびん座→さそり座→へびつかい座→いて座 0 等級)
	金星 明け方 東 (おとめ座 → てんびん座 -4 等級) (中旬ころまで)
	火星 明け方 東 → 南東 (おとめ座 2 等級)
	木星 明け方 南東 (おとめ座 → てんびん座 -2 等級) (下旬)
	土星 夕方 南西 (へびつかい座 → いて座 0 等級) (中旬ころまで)

## ☆ 空高くに見られる秋の星座

天頂付近には「秋の四角形」があるペガサス座やアンドロメダ座、北の空高くにはカシオペア座などの秋の星座が見られます。

逆W型に星が並んでいるカシオペア座を使うと北極星を見つけることができます。図のように、Wの端の2辺(β→α、ε→δ)を延長した線の交点からWの中央の星(γ)へ結んだ線を5倍延長したところに北極星があります。この星は地球の自転軸と同じ方向にあるため、いつも北にあり動かないように見え、方角を知る目印として使われてきました。日本では北の方角を十二支の子(ね)といったことから「子の星(ねのほし)」と呼んできました。

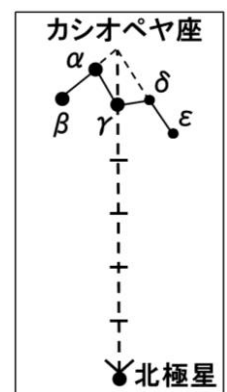


図 カシオペア座と北極星

## ☆ 東からのぼり始める冬の星座

日本では「すばる」と呼ばれるおうし座の「プレアデス星団」は、肉眼で5~7個ほどの星の集まりとして見るすることができます。これは、ギリシャ神話では月の女神アルテミスに仕えていたプレアデス7人姉妹の姿だと言われています。

「すばる」の北側に目を移すと、五角形に星が並ぶぎょしゃ座が見つかります。日本では、これを「五角星(ごかくぼし)」と呼んでいました。また、1等星のカペラは「すばる」よりも先に昇ってくることから、「先星(さきぼし)」と呼んでいました。この星は、1等星の中で北極星に一番近い位置にあります。北緯44度よりも北の地域(北海道北部の稚内など)では地平線下に沈むことがなく、一年中見られます。